

Mizuho Daily Market Report

2024/8/5

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	149.16	146.53	▲2.83	▲7.23
EUR	1.0802	1.0911	+0.0120	+0.0055
AUD	0.6513	0.6511	+0.0010	▲0.0037
SGD	1.3335	1.3268	▲0.0099	▲0.0158
CNY	7.2154	7.1722	▲0.0728	▲0.0783
MYR	4.5082	4.4970	▲0.0723	▲0.1608
THB	35.39	35.36	▲0.25	▲0.70
IDR	16205	16200	▲35	▲90
PHP	58.12	58.10	▲0.24	▲0.25
INR	83.75	83.75	+0.02	+0.02
VND	25217	25219	▲1	▲102

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.790%	▲18.6 bp	▲40.4 bp
日本(10年)	0.950%	▲9.1 bp	▲11.7 bp
ユーロ圏(10年)	2.174%	▲7.0 bp	▲23.3 bp
オーストラリア(5年)	3.708%	▲4.7 bp	▲28.5 bp
シンガポール(5年)	2.715%	▲5.7 bp	▲23.8 bp
中国(5年)	1.832%	▲1.4 bp	▲6.5 bp
マレーシア(5年)	3.498%	▲1.0 bp	▲7.0 bp
タイ(5年)	2.302%	▲2.8 bp	▲6.4 bp
インドネシア(5年)	6.702%	▲0.1 bp	▲9.7 bp
フィリピン(5年)	5.971%	▲1.6 bp	▲15.4 bp
インド(5年)	6.820%	▲1.6 bp	▲2.5 bp
ベトナム(5年)	2.110%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	39,737.26	▲1.5%	▲2.1%
N225(日本)	35,909.70	▲5.8%	▲4.7%
STOXX50(ユーロ圏)	4,638.70	▲2.7%	▲4.6%
ASX(オーストラリア)	4,474.40	▲1.6%	▲1.5%
FTSE(シンガポール)	3,381.45	▲1.1%	▲1.3%
SSEC(中国)	2,905.34	▲0.9%	+0.5%
SENSEX(インド)	80,981.95	▲1.1%	▲0.4%
JKSE(インドネシア)	7,308.12	▲0.2%	+0.3%
KLSE(マレーシア)	1,611.05	▲0.8%	▲0.1%
PSE(フィリピン)	6,605.30	▲1.3%	▲1.8%
SETI(タイ)	1,313.08	▲0.7%	+0.4%
VNINDEX(ベトナム)	1,236.60	+0.8%	▲0.4%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	270.13	▲1.3%	▲2.6%
金	2,443.24	▲0.1%	+2.3%
原油(WTI)	73.52	▲3.7%	▲4.7%
銅	8,933.85	+0.1%	▲0.7%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	144.60	—	146.80
EUR/USD	1.0850	—	1.0990
AUD/USD	0.6385	—	0.6580
USD/SGD	1.3160	—	1.3380
USD/CNY	7.1260	—	7.2090
USD/INR	4.3500	—	4.4730
USD/THB	35.00	—	36.65
USD/IDR	16000	—	16350
USD/PHP	57.40	—	58.70
USD/INR	83.00	—	84.10
USD/VND	25,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は149円台前半レベルでオープン。日経平均株価が大幅下落で開始するとドル円も上値重く推移。その後、日本株が下げ幅を縮小する中、買戻しが入り、一時149円台後半まで上昇。午後は再び下落に転じる日本株を横目に軟調な動きとなり、149円ちょうどレベルで海外時間に渡った。アジア通貨は引き続き堅調な動き。中でも連日大幅な伸びを記録しているマレーシアリングットは対ドルで前日比1.43%上昇。

海外市場のドル円は149円台半ばでスタート。日経平均株価が2000円超下落する展開を受け、148円台後半レベルまで円が買われる。その後は円買い一巡となり、徐々に値を戻し、149円ちょうどレベルでNYオープン。朝方に発表された注目の米7月非農業部門雇用者数変化指数は予想を下回り、前回分の結果も下方修正された事に加えて、失業率も予想以上に悪化する等米労働市場が一段と減速している結果となった。結果発表後は米労働市場の先行きを懸念したドル売りが優勢となり、147円台ちょうど付近まで急落。その後も米金利が下げ幅を拡大する動きに追随し、146円台半ばまで値を下げる。午後は147円台前半まで買い戻される場面もあったが、その後再び146円台半ばまで反落しクローズ。

【金利】

先週金曜日の米金利は大幅低下。アジア時間から欧州時間にかけ緩やかな金利低下となった後、NY時間に発表された弱い雇用統計を背景に米10年金利は3.79%(前日比▲18.6bp)でクローズ。

【予想】

本日のドル円は引き続き上値の重い推移を予想。先週金曜公表の米7月雇用統計は過去分含め弱含み、インフレの減速に続き労働市場の減速も確認される結果となった。市場が織込み利下げ確率も年内5回弱まで加速しており、足元景気後退懸念が本格化してきている中ではドル円は軟調に推移しやすいただろう。

【本日の予定】

(日本) 7月 複合PMI(確) / サービス業PMI(確)
(アジア) 2Q インドネシア GDP
(アジア) 6月 シンガポール 小売売上高
(アジア) 7月 インド PMIサービス業(確)
(アジア) 7月 シンガポール PMI
(アジア) 7月 タイ CPI
(アジア) 7月 中国 CaixinPMIサービス業
(アジア) 7月 豪 PMサービス業(確)
(アジア) 7月 豪 モルボルンインスティテュートインフレ
(欧州) 6月 ユーロ圏 PPI
(欧州) 7月 ユーロ圏 サービス業PMI(確)
(欧州) 8月 ユーロ圏 センテックス投資家信頼感
(米国) 7月 ISM非製造業景況指数
(米国) 7月 サービス業PMI(確)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。